



講座のアピールポイント

内科学（腎臓・高血圧）講座では腎臓の病気と高血圧に関する研究を行うとともに、病院で腎臓病、高血圧の患者の診療を行っています。

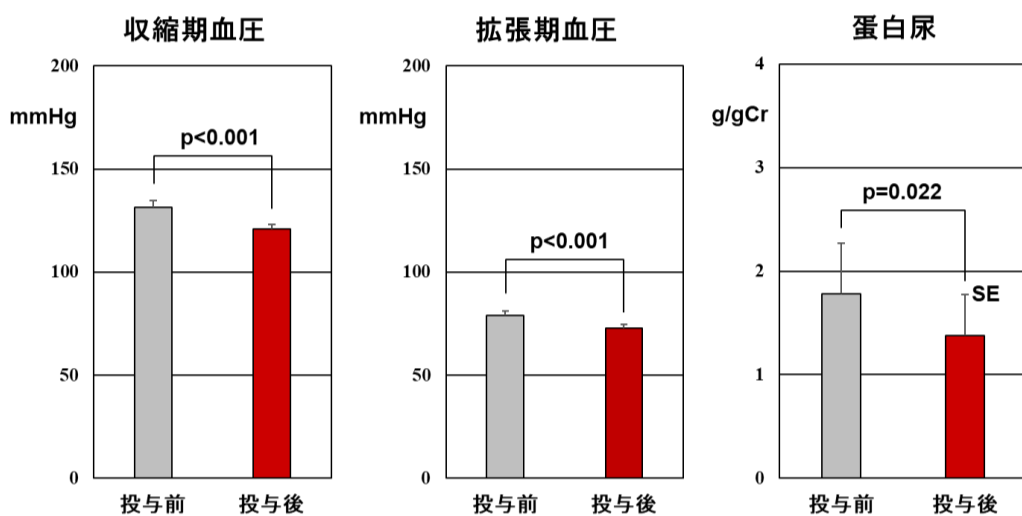
高血圧は現在わが国で約4300万人が罹患しており、放っておくと脳卒中、心筋梗塞や心不全、腎不全の原因となります。また、症状はなくても、腎機能の低下や蛋白尿があると慢性腎臓病と診断されます。慢性腎臓病では、高血圧になることが多いとともに、将来的に腎不全・透析や脳心血管病を起すリスクが高くなります。

私共は、腎障害や高血圧の原因を調べ、これらを効果的に治療する方法を確立するとともに、未然に予防することを目標とした研究を行っています。

内科学（腎臓・高血圧）講座研究紹介

近年、糖尿病の治療薬として尿中への糖排泄を促進するSGLT2阻害薬が使われるようになりました。このSGLT2阻害薬は血糖を下げだけでなく、心臓や腎臓を守る効果があることが期待されています。

私共は、慢性腎臓病を合併する糖尿病患者にSGLT2阻害薬を3-4か月投与した結果、血糖低下とともに、体重が減少し、血圧が下がり（図）、腎障害の指標である蛋白尿が減少し（図）、血液検査では中性脂肪や尿酸が下がり、肝機能が改善しました。すなわち、肥満を中心とした生活習慣病の悪影響が全体的に改善されました。



我々の命を脅かす脳卒中、心筋梗塞、心不全、腎不全などの脳心血管病は動脈硬化が進むことにより起こります。動脈硬化は高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病により促進されますので、SGLT2阻害薬はこれらの生活習慣病を総合的に改善する治療薬として動脈硬化を防ぎ、心臓や腎臓を守る効果が期待されます。

血液浄化センター研究紹介

- 尿蛋白は腎臓病を早期に見つけるために重要です。尿蛋白がなぜ出るのか？そのメカニズムを長年研究してきました。腎臓には糸球体という小さな血管の塊が左右各100万個ありますが、これを覆っているポドサイトの小胞の輸送が尿蛋白の機序として重要であることをアメリカ腎臓学会・国際腎臓学会などで発表してきました。詳しくはホームページ (<https://akihirotjo.wixsite.com/akihirotjo>) を参照して下さい。
- 近位尿細管は糖代謝に関与し、小胞内pHを調節することで、新たな
- 糖尿病の治療法を開発し、今後の展開が期待されます。
(<https://akihirotjo.wixsite.com/akihirotjo>)
- 医療スタッフが協同して、患者の病気に対する理解を深め生活指導を行うことによる治療効果を検討する研究を進めています。
慢性腎臓病を改善し、透析導入を避けるために患者さんが自らできることは食事療法と生活習慣の改善です。そこで、腎臓病教室を年3回毎年開催してきましたが、感染症防御のため今年はオンラインで開催していますので、参照下さい。

令和2年度腎臓病教室

開会の挨拶： 血液浄化センター長 藤乗嗣泰

<https://www.youtube.com/watch?v=Lce33vSNU4&feature=youtu.be>

腎臓ってなあ〜に？：腎臓の働きについて

腎臓・高血圧内科 古市将人 助教

<https://www.youtube.com/watch?v=Fr8pmLnuALc&feature=youtu.be>

腎臓はどのような働きをしているのか？腎臓が悪くなるとどうなるか？治療法はあるの？

腎臓病の食事療法：蛋白制限食・塩分制限食・カリウム制限

栄養部 大石比奈子 管理栄養士

<https://www.youtube.com/watch?v=0DEBRtsEu0I&feature=youtu.be>

管理栄養士が腎臓病の食事療法を具体的に教えます。日々の食事療法の参考にして下さい。

糖尿病から腎臓を守ろう

看護部 大野結美 糖尿病療養指導士

<https://www.youtube.com/watch?v=ppcy--2tUY4&feature=youtu.be>

高血圧と腎臓病の関係

腎臓・高血圧内科 岩嶋義雄 准教授

<https://www.youtube.com/watch?v=t2IEMI-XUnU&feature=youtu.be>

1日1gの減塩で血圧が下がると、脳梗塞・心筋梗塞の予防になります。運動も重要です。